

令和6年度 第3回野洲市社会教育委員会議

日付	令和6年11月14日（木）
時間	10時00分～12時00分
場所	人権センター2階 じんけん交流研修室
参加者	【出席】佐敷恵威子、小澤郁乃、永石 利行、板倉 祥浩、鷺田 新介、 上田 智子（委員6名） 北脇教育長、田中教育部長 生涯学習課：行俊次長、西川参事、若井課長補佐、田中（事務局6名） 【欠席】宇野 比呂久、西川 典子、富田 由紀子（委員3名）

概要
【1. 開会】 ・本会議は議事録作成のため録音・写真撮影を行い、公開とする。 【2. 教育長あいさつ】 ・教育長あいさつ 11月11日に滋賀県社会教育研究大会において、県内で社会教育に貢献された10名の表彰が行われ、野洲市からは1名が受賞された。また、高齢者を狙う詐欺の実態というテーマの中で、野洲市の自治会サロンの様子などがテレビで紹介されていた。「できる時にできる人が」という気持ちをもって、市内に社会教育・生涯学習の輪が広がるように皆様のお力をいただきたい。 【3. 議事】 (1)「第3期野洲市生涯学習振興計画」の進行管理について 〔事務局〕 ・第3期野洲市生涯学習振興計画の進行管理シートについて、資料として配布しているものを作成した。計画に記載されている事業一覧と、各担当課等がそれぞれ記入することを想定した評価シートがある。全ての事業について振り返りを行うには数が多いため、ここからより効果的で効率的なものにしていくためにご意見をいただきたい。 〔委員長〕 ・一律のシートで評価することは難しい。事業についてチェックしていく時に、どんなところをまず見ていくのか、あるいはどこを大事にしていけないといけないか、それぞれの活動をされていると思うので、そういった面からもお話しいただきたい。また、評価シートの有効性や効率性について、数値がない主観的なものになっている。評価を今後活かしていけるように何かできないか、委員の皆さんに意見をだしていただきたい。

(2) 意見交換

〔各委員意見〕

- ・ 効果は何％であったということが出ると明確である。計画段階で前のことが分かっているならば、より次に生かすことができる。何を重点的にするかというのは必要ではないか。チェックした内容を次に繋げていけると良いと思う。
- ・ 大会などではその都度アンケートをとり、次回につなげる工夫をしている。子どもの居場所づくり事業では、子どもたちの意見を反映させるなど、フィードバックができれば良いと思う。
- ・ 地域でしていることについて、アンケートをとっているのであれば、成果の中で頑張っていることや「良かった」が何％だったかの評価、生の声を反映できれば良いと思う。
- ・ 数値を増やせば効果がでるというものではないことがある。何回やったかではないところで、その事業をしたことによる効果が大事になってくる。
- ・ 自分の関わっているイベントでは、参加率と狙っていた層の参加者がどのくらいだったかというところまで掘り下げていかないといけないと感じている。その数字が評価の形で、次年度どうするかというシンプルな形になる。
- ・ 教育では特に数字にできない結果もある。それぞれの事業によつての評価の仕方も違うと思う。
- ・ 地域で頑張っていることを応援するには、その効果がどれくらいであったかを示す等、地域へのフィードバックも欲しいと思う。数字では表せないものも、頑張っていることや課題、連携したりしていることが分かるようにしたい。地域の思いとのずれがあったらいけないと思う。
- ・ 社会教育関係団体の補助金について、ボランティアの方々が増えている中で、サポートは必要になってくる。計画をして評価をするのが理想だと思う。
→〔事務局〕 市民活動に関する補助金があつたりすることもあり一律に決めることが難しいところがある。見直しが必要ということは認識している。
- ・ 地域で何かしようという人を社会教育や生涯学習としてどのように拾っていくかが大事だと思う。そのような人たちとつながることも大切。

〔事務局〕

- ・ いただいた意見をもとに、3月の第4回会議にて再度案を提示させていただく。

【4. その他】

〔事務局〕

- ・ 報告：第4次野洲市子どもの読書活動推進計画の策定状況について
 - ・ 10月に第2回の策定委員会を開催し、計画（案）について検討した。その結果をもとに作成した計画（案）についてパブリックコメントをする予定。
 - ・ 概要版に沿って計画について説明。
 - ・ 委員質問
→学校司書配置の目標値と現状値の差について

〔事務局〕 目標値は5年の間に段階的に達成する数値としている。現状厳しいところもあるが、県内でも配置が進められている。

【閉会】